

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

国際交流科1年生の海外研修旅行(カナダ)をはじめ、全生徒対象としたオーストラリア訪問研修を実施した。海外研修旅行(カナダ)の事後学習は、生徒は各自テーマを設定し、カナダに関する調べ学習を行いクラスで発表し、代表者数名は国際交流科1・2年生(80名)の前でも発表した。1年生にとっては、海外研修旅行の事前学習としても役立っている。

一昨年に中国姉妹校訪問研修が復活し、本年度は姉妹校訪問団を受け入れ、相互交流を再開できた。オーストラリア訪問団も受け入れ、継続的に交流を検討することとなった。タイ交流校の訪問団やJENESYSを通じて韓国高校生の受入れでは、学校紹介やマシュマロチャレンジで相互交流を深めた。日本語が流暢な学生達に刺激を受けて、英語以外の外国語学習にも意欲を見せるようになった。

和歌山県が主催するアジア・オセアニア高校生フォーラムでは、国際交流科生徒を中心に各国代表の発表を聞いた。また、代表団が本校を訪問し、クラブ紹介や日本文化、地域紹介を通じて相互理解に努めた、地元企業と一緒に訪問しリサイクル事業について学習を深めた。

OECD日本イノベーション教育ネットワーク和歌山クラスターの一員として、ワークショップに参加するとともに、自校での勉強会を定期的実施している。来年8月に実施される東京ラウンド国際会議むけて加盟校と連携をとりながら準備を進めている。

これら以外にも、様々な活動や交流を実践するとともに、各種団体が主催する取り組みにも参加し、異文化理解や自国の文化や社会の理解促進に努めた。

異文化理解促進の一つとして、第二外国語の習得を促進している。本年度も、第5回第二外国語レシテーションコンテストを開催した。また、中国語や韓国語の弁論大会、検定への取り組みを推進した。

平和学習に関しては、普通科2年生で沖縄修学旅行を実施している。旅行の前後には、基地問題や沖縄の自然環境や民俗など班別にテーマを設定し、調べ学習と発表をすることで、平和や人権、環境に関する探究学習を進めている。国際交流科の事後学習発表者も含めクラス代表者が2学年生徒全員の前で学習の成果を発表した。

防災および地域理解の側面においては、学校全体で防災及び減災意識を啓発するために講演会と訓練を実施した。1年生は、非常食(アルファ米の炊き出しや段ボールパテーションの組み立て、AEDを使用した普通救急救命講習を実施した。和歌山県が実施した「世界津波の日」高校生スタディーツアーにも参加し、招へいされた外国の高校生たちと、和歌山県防災センターを見学し防災をテーマに学習と交流を深めた。

これからも交流、および語学教育を中心に異文化理解を促進し、平和や防災、環境など共通課題に取り組みながら、国際社会の一員としての自覚を高める取り組みを進めたい。



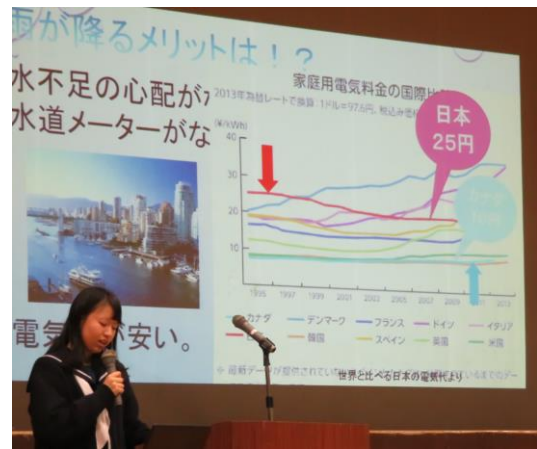
中国姉妹校生徒と世界遺産高野山を散策



タイ交流校生徒とお国自慢



海外研修旅行（カナダ）ピースアーパーク



海外研修旅行事後学習発表



和歌山クラスターワークショップ



↑ JENESSYS 韓国高校生と一緒に
マシュマロチャレンジ
←オーストラリア訪問団受入
部活体験（なぎなた部）



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）